

2024年 7月 9日

長野県知事 様

2023年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

協定期間	2023年度から 2025年度	
会社名	野村建設株式会社	
住所	〒 399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島829番地5	
代表者名	代表取締役 野村 肇	
業種	製造業 ・ 建設業	
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所在地
担当部署	総務	
担当者名	松原 久雄	
連絡先	TEL	0265-86-2010
	FAX	0265-86-2047
	電子メールアドレス	matsubara@nomura-con.co.jp info@nomura-con.co.jp
ホームページアドレス	http:// nomura-con.co.jp/	

1 産業廃棄物3R実践方針

美しい信州の自然や環境を守るために、我々は下記のような取り組みを行い廃棄物減量化に取り組む。①各現場毎に減量目標を定め、達成状況を確認する。②各現場毎の減量化目標達成率を比較し優秀な現場については社内表彰を行い、社員の意識向上を図る。③社員、作業員に対して意識向上の為の研修会を実施する。④ホームページを積極的に活用し情報開示を行う。

2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

	2024年度目標値	2023年度実績値	2022年度実績値	2021年度実績値
総排出量の推移 ($t \cdot kg \cdot m^3$)	1,500	979.46	2,933	2,435
リサイクル量の推移 ($t \cdot kg \cdot m^3$)	1,500	979.16	2,871	2,456
売上高の推移 (円)	700,000,000	540,930,000	602,521,000	671,537,000

3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- ・従業員教育として、廃棄物減量化の必要性や減量化事例の紹介等を行う。
- ・リサイクル促進に向けた取り組みとして、計画段階において使用資材については同等品でリサイクル製品がある場合には発注者と協議してリサイクル製品を使うよう働きかける。また、現場での分別を徹底させると共に、計画的な発注を行うことにより見込み発注などによる残材廃棄物の発生を無くすようにする。
- ・委託処理した廃棄物が不適正処理されたことが判明した場合は直ちに関係機関に連絡すると共に状況把握を行い、原因究明のための協力体制をとる。不適正処理された廃棄物の撤去や最終処分については、原因者に強く要請するが排出事業者責任として、適切に対処する。また他の不適正処理に対しても日頃から注意を払うよう従業員へ喚起し、不適正と認められる現場を発見した場合は、関係機関へ情報提供を行う。
- ・独自に取り組む事項として、弊社のホームページを積極的に活用し、当社の廃棄物減量化に対する取り組みを紹介すると共に、地元住民の意見も聴取し随時体制の見直しを行う。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値	過年度実績値		
	2024年度目標値	2023年度実績値	2022年度実績値	2021年度実績値
再生クラッシュカーボン	100	100	100	100
再生アスファルト合材	100	100	100	100
全体	100	100	100	100